

## 好ましい人間関係を育てる新たな取り組み

教頭 渡部 栄二



新しい年度には、新しい試みが始まります。中川小学校では、心育成に関して次のような取組を始めました。

ソーシャルスキルを習得させ、構成的グループエンカウンターで活用し、より良い人間関係をつくる力を育成する。

言葉で言うと難しいです。子どもには次のように説明しました。

ソーシャルスキルとは、「人付き合いのコツ」のことです。これを身に付けると、友だちが増え、仲良くでき、楽しい生活ができます。まず、「温かい言い方」と「冷たい言い方」があることを知りましょう。そして学級で練習し、「ふれあいタイム」などで「温かい言い方」を使っていきましょう。

この説明は、全校朝会で行いました。4月のスキルは「元気なあいさつ」です。職員が劇として「温かいあいさつ」と「冷たいあいさつ」を演じます。その後、各学級で言い方の練習をし、その日の昼の「レッツゴーグループ結成式」の際、全校で活用したわけです。

当日の1時間目は、どの学級からも元気のよいあいさつの声が響いていました。「結成式」でもあいさつを使ってゲームをし、笑顔があふれました。「温かい言い方だね。」とほめる場面もいっぱいありました。16日の交通安全教室では、温かい言い方をしようと呼びかける6年生が、指導員の方にほめられていました。

なぜ、中川小学校はこのような取組を進めるのでしょうか。

今までは「生活目標」として子どもに指導してきました。しかし、言葉だけではスローガンになってしまい、子どもの言動を変えるまでには至らない場合もあったのです。そこで、生活目標をスキルとして示し、職員が行動で示して、子どもにスキルを使わせる場を設定することにしました。「言って聞かせ・やって見せ・やらせてみて・ほめる」システムを生活指導に当てはめたわけです。

かつて子どもは、家庭や地域の中でそのようなスキルを身に付けてきました。対人関係能力は、生身の人間と付き合う体験を通して身に付くのです。

しかし今は、テレビ・ゲーム・パソコンに向かう時間の方が長くなりつつあります。ディスプレイに向かっている時間は、自分の欲求を抑えたり、友達との関係で葛藤したりという作業が、脳の中では全く行われません。何か頼むと「無理!」としか言わない子が増えているのは、そのためだと言われています。

心には温かいものをいっぱいもっている中川っ子。それを上手にメッセージとして伝えられるよう、毎月ターゲットスキルを設定し、全校体制で指導をしていきます。お子さんの言動の変化から、その月のスキルがお家の方にも分かたらよいなぁと考えています。

温かいあいさつを演じてみせる職員



# 中川小学校 学校マニフェスト

心育成の他にも、本年度の新たな取り組みはたくさんあります。「学校マニフェスト」として、平成19年度、どのように・どこまで子どもを伸ばすのか目標を紹介します。学力向上プロジェクト

重点課題1「確かな学力と自学力を育てる」			
	項目	評価基準（ABC）	判定方法
成 果	全校テスト（国語・算数）の合格率を、全学年で80%以上にする。	A のべ12教科中、10教科以上達成。 B のべ12教科中、9教科以上達成。 C Bに至らず。	・全校テスト80点以上を合格とする。 ・その合格者が1～4年生は80%以上、5・6年生は70%以上で達成とする。 ・全校の達成教科数で評価する。
	算数の時間に、自力解決できる児童を80%以上にする。	A 全校児童の80%以上。 B 70%以上。 C Bに至らず。	・月に1回程度、「進んで課題解決」を見取る算数授業を設定する。 ・その時間に次の評価規準項目をチェックする。「自力解決の場面で、自分の考えを書くことができる」 ・4回のうち2回以上、どちらかできれば達成。（4回に満たない、または越える場合は過半数とする）
	生活科・総合的な学習の時間に、進んで課題に取り組み、解決しようとする児童を70%以上にする。	A 全校児童の70%以上。 B 60%以上。 C Bに至らず。	・各学年で単元の内容・児童の実態に応じた「評価規準チェック表」を作成し、判定する。（単元ルーブリックを活用してもよい）

## 心育成プロジェクト評価資料

重点課題2「思いやりの心を育て、人とのつながりや、自然や命を大切にしようとする態度を育てる」			
	項目	評価基準（ABC）	判定方法
成 果	異年齢集団での活動を楽しんでいる児童の割合を90%以上にする。	A 90%以上。 B 80%以上～90%未満 C 80%未満。	・アンケートは学期末の「〇学期がんばりアンケート」で4以上の児童の割合で判断する。（学校生活アンケートではない）
	あいさつを礼儀正しく言い、人に「ありがとう」と言える児童の割合を90%以上にする。	A 90%以上。 B 80%以上～90%未満 C 80%未満。	後日提案
	Q-U調査の学級生活満足度群の割合を60%以上にする。	A 60%以上。 B 50%以上～60%未満 C 50%未満。	学期末に調査を実施。「学校生活意欲」と「学級満足度」を分析。「満足群」の割合で判断する。
	「いじめ・不登校」の発生を0にする。	A 発生が0。 B 「いじめ・不登校」どちらかが発生する。 C 両方発生、または2件以上発生。	

## 体力向上プロジェクト評価資料

重点課題3「自分の体力や健康を知り、進んで体を鍛え、正しい生活習慣を身に付けようとする態度を育てる」			
	項目	評価基準（ABC）	判定方法
成 果	体力向上活動や休み時間、体育の時間等において「積極的に運動に取り組む」児童の割合を80%以上にする。	A 80%以上 B 70%以上 C Bに至らず	・「外遊びがんばりカード」で5級以上 ・学期末の「〇学期がんばりアンケート」で4以上。 ・どちらも達成できている児童の割合で判定する。
	体力テストでA判定B判定の児童の割合を53%以上にする。	A 53%以上 B 45%以上 C Bに至らず	テストではないが、数値として明確に判断できる。
	生活習慣チェックカードで生活習慣や食生活の意識や態度（早寝、早起き、朝食）に維持・向上が見られる児童の割合を80%以上にする。	A 80%以上 B 70%以上 C Bに至らず	・アンケートは学期末の「生活習慣アンケート」全項目の平均で判断する。 ・平均2.6以上または前回より向上した児童の割合で判定する。

# 「地域ぐるみの学校安全事業」での報告書

昨年、家庭・地域の皆様に御協力いただいた取組が、次のようにまとまりました。  
<以下の部分はパソコンデータに無いため、表示できません>

平成18年度文部科学省委嘱  
「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」モデル地域事業 実施報告書よりコピー  
(別のPDFファイルをお開きください)

明日20日(金)の教育振興会総会では、新「加治川小学校」PTA組織がどのようなものになるかの説明があります。新体操着の見本、その採択アンケートも実施します。学校マニフェストも知・徳・体の3主任が説明します。中川小学校、最後の重要な総会です。全員参加をお願いします。